

産業を支える 接着剤の役割について、 認知をさらに広めたい。

くっく
9月29日
は
接着の日

**9月29日は「接着の日」
PRやイベントも実施**

9月29日は何の日かご存じだろうか。実は「接着の日」である。日本接着剤工業会の働きかけにより、2010年に日本記念日協会にて制定された。日本接着剤工業会の野川隆幸会長は「『9・29』で『くっつく』という語呂合わせです。接着剤の機能や役割をもっと伝えたいと考えて始めました。当工業会で積極的にPRを行うとともに、会員企業の中にはこの日に合わせて独自にイベントを行うところもあります。たくさんの方に、この日を知ってもらいたいと思います」と話す。

日本接着剤工業会は1966年、接着剤業界の健全な発展と向上を目的に発足した国内接着剤メーカー唯一の全国的業者団体である。現在、正会員93社、賛助会員37社によって構成されている。

会長 野川隆幸



「接着剤というと、脇役というイメージがあるかもしれませんが、あらゆるものづくりに欠かせない存在です。住宅や家具、自動車、家電、雑貨までさまざまなか所で接着剤が使われ、接着剤がなければ、製品としての機能を実現できないほどです。縁の下の力持ちとして、もっとスポットを当ててほしいですね」（野川会長）。

同工業会の会員メーカーが製造する接着剤は、世界でもトップクラスの品質を誇る。さらに同工業会では、接着剤に関するJIS（日本工業規格）原案の作成、JAI規格（日本接着剤工業会規格）の作成およびJAIマーク表示といった標準化も進めている。

「『安心・安全』、『地球環境』などに対する取り組みも積極的に進んでいます」と野川会長。

シックハウス対策につながるノンホルムアルデヒド接着剤の認定もその一つだ。同工業会の認定を受けた製品は、改正建築基準法のホルムアルデヒド発散量基準で「F☆☆☆☆（エフ・フォースター）」を表示できる。住宅や家具の購入などの際に、消費者が安心して判断できるだけでなく、ハウスメーカーや家具メーカーにとつては、付加価値の高い製品を提供できる。同工業会ではさらに4V

生活に欠かせない接着剤の様々な用途



OC（揮発性有機化合物）基準適合接着剤や製本用難細裂化ホットメルト接着剤などの認定も行っている。

「情報収集や発信も、国内外で力を入れて行っています。2012年にパリで開かれる『世界接着剤会議（WAC）』に参加するほか、14年には『アジア地域接着剤会議（ARAC）』を日本で開く予定です。さらに、16年に開かれるWACを日本で開催できるように、現在誘致を進めているところです。いずれの会議も、世界の動向を知り、さまざまな人とのコミュニケーションがはかれるとともに、当工業会および会員企業の

グローバルなPRの場にもなっています」（野川会長）。

また、同工業会ではこれまでにも、「接着技術学校」や「接着剤入門講座」などを開設し、接着剤に関する教育活動を行ってきたが、今後はこれらについてもグローバルに展開していく考えだ。

折しも、16年は日本接着剤工業会の創立50周年にあたる。同工業会および接着剤の存在意義がさらに注目されそうだ。

「目にすることは少ないかもしれませんが、社会になくてはならないのが接着剤です。ぜひ、たくさんの方に認知してほしいと願っています」と野川会長は力を込める。